

1. 以下問題に対して答えなさい。

①血圧を上げる作用をもつのはどれか。2つ選べ。

- ①. レニン
- 2. インスリン
- 3. カルシトニン
- 4. ソマトスタチン
- ⑤. ノルアドレナリン

②アンジオテンシンⅡの作用はどれか。

- ①. 細動脈を収縮させる。
- 2. 毛細血管を拡張させる。
- 3. レニン分泌を促進させる。
- 4. アルドステロン分泌を抑制する。

③術後1日の手術創の正常な治癒過程として正しいのはどれか。

- ①. 創部の浮腫が起こる
- 2. 肉芽組織が形成される
- 3. コラーゲンが成熟し瘢痕組織となる
- 4. 血管内皮細胞が新しい血管を形成する

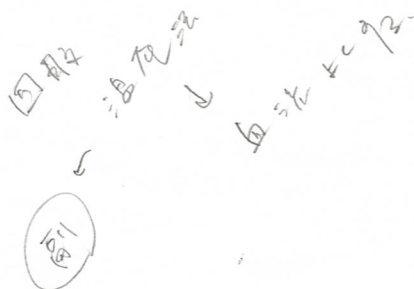
④血糖上昇作用があるのはどれか。

- 1. カルシトニン
- 2. プロラクチン
- 3. バソプレシン
- ④. アドレナリン

⑤開腹手術を受けた患者の手術当日の無気肺予防で適切なのはどれか。

- 1. 肺雑音を認めた場合は直ちに吸引を行う。
- ②. 深呼吸を1、2時間ごとに行う。
- 3. ネブライザー吸入中は鼻から吸息する。
- 4. 痰を喀出できるように咳嗽は勢いよく行う。

2. 侵襲による生体反応として大きく3つの反応が起きました。3つ全て答えなさい。
3. ムーアの手術後の回復過程で第1相は尿量が減少するが、なぜ尿量減少が起こるのか、サードスペースのことを用いて説明しなさい。
4. 早期離床（術後に初めて歩行するとき）の際に観察することを3つ以上答えなさい。なぜ観察するのか理由と共に述べてください。
5. 術中の看護で体温管理がありました。どうして術中の体温保持に努める必要があるのか説明しなさい。
6. 術後イレウスの予防のために、看護計画の中にリラックス（足浴などのケア）を促すことが挙げられていましたが、それはなぜか。術後の生体反応を踏まえて答えなさい。



学籍番号 ()

課題	試験	合計
23 / 25 点	68 / 75 点	91 / 100 点

1.

① 1.5	② 1	③ 1	④ 4	⑤ 2
-------	-----	----------------	-----	-----

-4

2.

神経・内分泌反応	免疫・炎症反応	凝固・線溶系反応
----------	---------	----------

3.

手術の侵襲により、血管壁の破壊や血管透過性の亢進が起こる。そのため、血漿成分が血管から血管外へ浸出しサドスホースがでる。サドスホースの出現により、血管内を流れる有用な血液が減少すること、尿量の減少にもつながる。

4.

○ ホーマンズ徴候：血栓が形成されていると痛みがあるため、深部静脈血栓症の疑いがあるかの判断材料になる。

○ 術創の疼痛の程度：痛みが強いまま早期離床を進めると患者は苦痛でしかなく次の離床にたがうため。

○ 血圧：起立性低血圧により血圧が低下する可能性があるため。

5.

なぜ体温が低下するのか？

体温が低下すると、免疫能の低下と末梢血管収縮による血流の低下により術創の治癒遅延が起こる。

また、血小板・凝固能の機能低下により出血傾向になるため。



-3

6.

術後イレウスは、麻酔薬や鎮痛薬の影響により、腸管運動が停止し、術後4日以降に排ガス・排便が見られない場合に起こる。術後は、交感神経が優位になり、腸蠕動運動が低下するため、リウクスを促し副交感神経を優位にすることで、腸蠕動運動を促すことができる。術後イレウスの予防につなぐことができる。